

総務

一般会計補正予算中、避難所における新型コロナウイルス感染症対策に係る備蓄品整備事業

〔質問〕購入を予定している避難者用間仕切りの1区画の大きさ及び素材は。

〔答弁〕1区画縦横2対の正方形で、容易に組み立て可能であることから、プラスチック製を予定している。

〔質問〕プラスチック製品が環境に与える負荷について検討したのか。段ボール製でのよいのでは。

文教福祉

一般会計補正予算中、赤ちゃん応援臨時特別給付金支援事業

〔質問〕支給額は自治体の裁量で決定できるが、県内のほかの市町が10万円としている中、5万円と設定した根拠は何か。

〔答弁〕支給額の根拠については、経済対策、教育、公衆衛生など、市の他のコロナ対策支援を総合的に考えた結果、子育て家庭において5万円の負担軽減ができれば、子育ての応援になると判断して支給額を決定した。

〔答弁〕環境に与える負荷は検討していない。消毒を行えば再利用可能であり、コスト面で優れていると考えているが、再度検討を行いたい。

〔質問〕既に購入した段ボール製間仕切りと入れ替える予定か。

〔答弁〕入れ替えはせず保管するが、今後は、今回購入を予定しているものを基本としたい。

〔質問〕購入を予定している間仕切りの高さが低いのだが、避難者のプライバシーが保護されないとと思う。女性や乳幼児等、配慮が必要な避難者に対応した高さにすべきでは。

〔答弁〕購入を予定している間仕切りは、120センチと130センチのタイプがあり、他市町で導入実績がある。関係者に意見聴取し、避難者の健康状態を適切に把握する必要がありと判断したが、実際に購入する際は、十分に検討したい。

〔質問〕物品を購入する際は、実際に使用する際、品目ごとではなく、一体的に検討するべきでは。

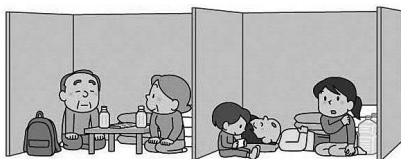
〔答弁〕端末の貸し出しが必要な家庭が約25%であり、WiFiなど無線環境が全くない家庭が約15%であった。情報機器を各家庭に持ち帰ったのを利用は、全校一斉に臨時休業の場合を想定しており、その場合は、各家庭の通信環境を利用してもらうことになる。通信環境が整っていない家庭については、臨時休業により教室は密にならないため、学校に出てきてリモート授業を受けることや、学校に来られない場合は、WiFiルーターなどを貸し出すといった方法が考えられる。

常任委員会(決算以外)

同予算中、GIGAスクール等機器整備事業

〔質問〕年度当初に保護者宛てのネット環境に対してのアンケートを行って

いるが、WiFi環境がないと回答した家庭は、何割ぐらいあったのか。また、そのような家庭への対応はどうするのか。



〔答弁〕購入を予定しているもの以外に様々なタイプがあり、それぞれにメリットとデメリットがある。実際に購入する際は、十分に検証を行いたい。

〔質問〕購入予定の物品に段ボールベツドがないが、不足することはないのか。

〔答弁〕避難所全てを開設するような大規模災害が発生すれば不足することが考えられるが、その場合は、必要に応じて、国や県からの支援や、協定を締結しているNPO法人と連携して対応したい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

同予算中、文化芸術活動支援事業

〔質問〕補助の対象は、出演する人だけを想定しているのか。様々な鑑賞団体についても、支援の対象に含まれるのか。

また、対象になるのであれば、市内の対象者と同じ回数補助を受けられるのか。

〔答弁〕支援対象として、演者は当然対象となるが、公演の機会を提供される鑑賞団体の方も対象になると考えている。また、補助の回数についても、同じ回数と考えている。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。

経済産業

一般会計補正予算中、ICT塩分測定器設置事業

〔質問〕 ICT塩分測定器は現在10か所設置されているが、設置前と設置後で見回りの頻度はどう変化したのか。

〔答弁〕 設置前は、かんがい期、10月から3月の非かんがい期ともに2名で、合計で年間1,152時間はゲートの不具合の有無にかかわらず、職員が見回った。設置後は合計132時間で、見回り時間が約88%削減された。

〔質問〕 見回り時間は大幅に削減できたが、機器設置で塩害による農作物被害を事前に食い止めることができ実績はあるのか。

〔答弁〕 実際に、樋門に水草や流木が挟まり、塩水の逆流による発報で職員が駆けつけて水草等の除去作業を行うことにより、農作物への被害が防止できた事例がある。



ICT 塩分測定器

同予算中、中小企業・小規模企業生産性向上推進支援事業

〔質問〕 既に4月ぐらいいからテレワークを導入したところがあると思うが、既に支出したのも補助対象になるのか。

〔答弁〕 今後の取組に対する補助のため、終了した事業は対象とならない。

〔質問〕 国の第2次補正予算による事業なのでこのタイミングで仕方がないと思うが、早めに事業を始めた事業者が補助の対象にならず、後から始めればよかつたというような不公平感があつてはいけません。早く始めた事業者が手厚く支援を

受けられるということが必要であり、アンケートで事業者が既にどのような支援を受けられたのか把握できるのであれば、そういった不公平感が事業者の中に生じないように留意してもらいたい。

〔答弁〕 新型コロナウイルスを取り巻く状況の展開が速く対応できない部分もあるが、できるだけ事業者が受けた支援の状況等を把握しながら、事業展開をしていきたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

建設環境

一般会計補正予算中、多言語対応ごみ出し啓発事業

〔説明〕 外国人を含む市民への感染症予防対策に配慮したごみの出し方を伝えるため、多言語に対応したチラシ等による啓発を行う事業である。

〔質問〕 多言語に対応したチラシは何枚作成予定か。

〔答弁〕 9言語全て合わせて9,700枚を想定している。

〔質問〕 市内の外国人の数は。

〔答弁〕 令和2年1月末現在で、約

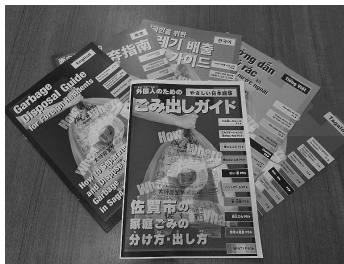
常任委員会（決算以外）

2,000人が住んでおり、近年は増加傾向にある。今は新型コロナウイルスで停滞している時期かもしれないが、今後増えていくと予測している。

〔質問〕 外国人のごみの出し方で特段の問題はないのか。

〔答弁〕 外国では指定日に指定袋に入れてごみを出す習慣がなかったり、日本語が未習熟のまま日本に在留する外国人もいるため、日本特有のごみ出しルールに戸惑うケースが多々あると思われる。ある地域では、外国語表記のステーション用看板を設置し、分別状況が改善した事例もある。今後も、多言語対応のごみ出しガイドブックや今回作成するチラシを

使いながら周知していきたい。



多言語対応ごみ出しガイドブック

同予算中、岡崎藤吉表彰碑移設復旧事業

〔質問〕 移設場所は佐賀大学の本庄キャンパス内のどこか。

〔答弁〕 中央に図書館があり、その北側奥の建物の前に移設予定である。

〔質問〕 岡崎藤吉氏は当時、佐賀大学の前身である旧制佐賀高校に多額の寄付をされたと聞いている。今の佐賀大学の学生にしっかりと周知するため、表彰碑の前に岡崎藤吉氏について説明するような案内看板などを建てる予定はあるか。

〔答弁〕 建てる予定である。岡崎藤吉氏のこれまでの功績等について周知できるように記載したい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。